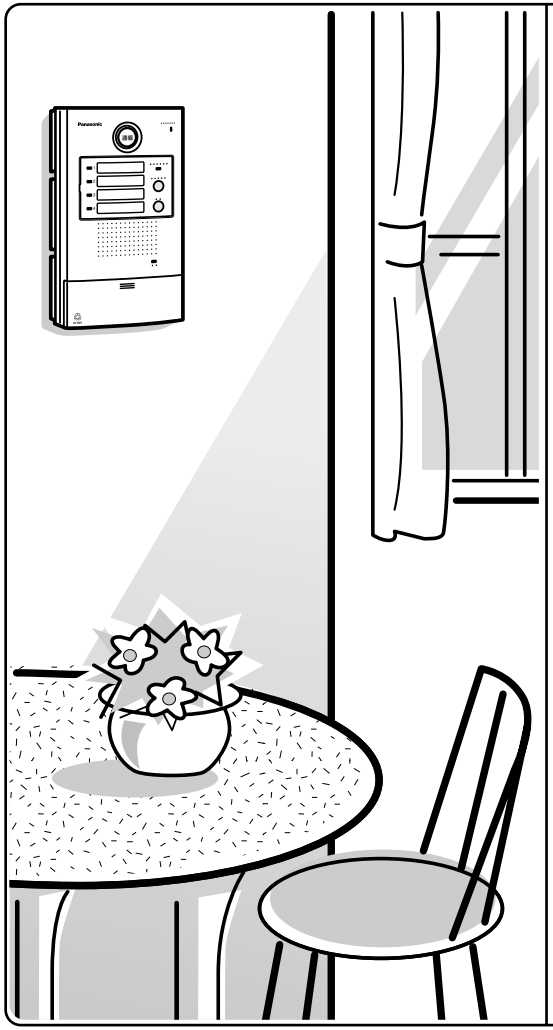
Panasonic

自動通報機
品番 WQNT102

自動通報機（通報釦付）
品番 WQNT103

取扱説明書

保証書別添付
施工説明書別添付



●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

ご使用前に

●この商品は、火災・ガスもれ・防犯異常などの警報が発生した場合に通報先に自動的に電話をかけ、通報するものです。
●この商品は、火災・ガスもれを通報する機能を持っていますが、ガスもれ・火災事故などによる損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
●商品の故障・誤動作によって通報できなかったことに対する付属的損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
電話 0120-283338 FAX 0120-551626
© Panasonic Corporation 2012
8A2 B44 00006 K0903-50112A

安全上のご注意

■必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告	
分解禁止	**絶対に分解したり、修理・改造しない。** 感電の原因となります。

〈ニッケル水素電池取扱上のご注意〉

⚠注意	
分解禁止	**電池は絶対に分解しない。** 電解液は強アルカリ性ですので、皮膚や衣類をいためたりします。
必ず守る	**コネクタの差し込み方向を確認する。** 逆に差し込むと電池のふくれや破裂の危険性があります。
禁止	**交換した電池は火中に投入しない。** 電池が破裂する場合があり、危険です。 電池はリサイクルに協力してください。

もくじ

■安全上のご注意 …… 1
■保守点検 …… 2
■ご注意 …… 3～4
　●内蔵ニッケル水素電池について …… 4
■各部のなまえとはたらき …… 5～6
■通報を行うには …… 7～12
　●警報メッセージ内容 …… 11
　●システム異常通報とは … …… 12
■通報先の電話機での操作 …… 13
■通報テストを行うには …… 14
■故障かな？と思われたら …… 15～16
■仕様 …… 17
■保証とアフターサービス …… 18

保守点検

●この商品は設置後の保守点検・維持管理がともなって初めて正常な機能を発揮する商品です。万一の場合に備え常に正常に動作するよう、日常点検と定期点検が必要です。
通報テストボタンを押して1ヵ月に一度は通報テストを行ってください。（14ページ参照）
また、定期点検は、施工店・定期点検実施店と定期点検保守契約を結び専門家に依頼することもできます。

●詳細は施工店または、最寄りの当社営業所へ相談してください。

ご注意

●通報先に110番、118番、119番は登録できません。
●自動通報機は一般電話回線接続用ですのでISDN回線や共同電話回線(PBXなど)・地域集団電話回線への接続は保証できません。
●ADSL回線には接続できますが、地域や接続速度によってノイズなどが発生する場合があります。
　●自動通報機はスプリッタのTEL側に接続してください。
　●IP電話には接続できません。
●通報先は確実に通報されるように、緊急時に迅速な対応が可能な場所を選んで、4ヵ所登録されることをおすすめします。
●通報先はあらかじめ先方の確認をとってから決めてください。
●携帯電話、PHSなどを通報先に登録すると、電源が切られていたり、電波の届く範囲外にいるなど着信が不可能な場合があります。
●通報先の電話機は停電時でも着信・通話が可能な機種を使用してください。

(注)コードレス電話機は停電時には使用できません。

●留守番電話機、ファックス機能付電話機などを通報先に設定すると、留守番機能やファックス機能が働き、人が応答しない場合があります。
●通報先が通話中の場合通報ができません。このため通報先の電話回線は、NTTとキャッチホン契約されることをおすすめします。
●電話機が1台(3μF以下)接続できます。
ただし、電話機は技術基準適合認定マーク(㊣または㊦)の入ったものを使用してください。
●電話機を使用中に警報が発生すると、通報が優先され、外線通話は切れます。

☞外線通話を切らないようにも設定できます。(設定マニュアル参照)

●通報中は電話機からの外線通話はできません。
●自動通報が確実に行われるために、1ヵ月に一度は本体の通報テストボタンを押して、通報テストを行ってください。異常があれば、施工店に連絡してください。
●接続機器についてはその商品に付属の説明書を参照してください。

この装置は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

内蔵ニッケル水素電池について

●この商品は停電時、自動的に内蔵ニッケル水素電池に切り替わり、満充電状態で約1時間の通報動作が可能です。
●内蔵ニッケル水素電池は約48時間充電すると、満充電となります。
(内蔵ニッケル水素電池は充電が必要です。)
●内蔵ニッケル水素電池は徐々に劣化しますので、2年に一度必ず定期点検業者による交換を行ってください。
内蔵ニッケル水素電池の品番：WQNT1022520

ニッケル水素電池はリサイクルへ

Ni-MH

この商品には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換、およびご使用済み商品の廃却に際しては、ニッケル水素電池を取り出し、リサイクルへ協力してください。

使用上のご注意

●水をかけないで!
故障の原因となります。

●ストーブなど高温の物を近づけないで!
故障の原因となります。

●炊飯器など湯気の出る物を下に置かないで!
故障の原因となります。

●テレビ・ラジオなどは2m以上離して!
映像や音声が乱れる場合があります。

お 手 入 れ

ふだんのおそうじは…
やわらかい布でふき取ってください。

汚れが目立つときは…
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使用しないでください。

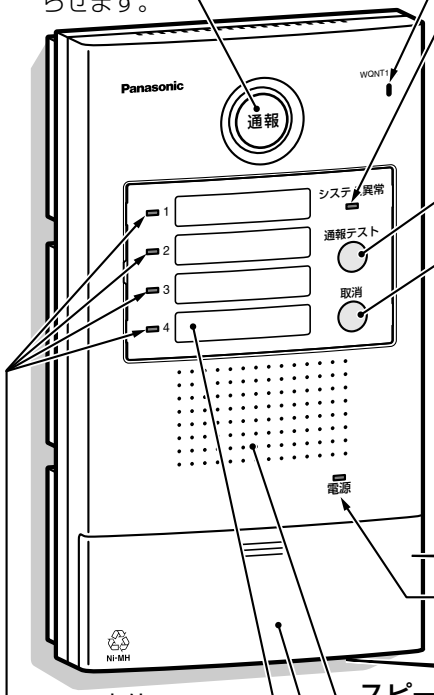
(注)ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

各部のなまえとはたらき

自動通報機(WQNT102)／自動通報機(通報釦付)(WQNT103)

通報ボタン／通報灯
(WQNT103のみ)
- ●通報するときに押します。
- ●通報中に赤色点滅(遅)し、通報先が応答すると赤色点灯します。通報完了時、赤色点滅の状態でどこで異常が発生したのかを知らせます。

異常が発生した場所	点滅の状態
通報ボタンが押されたとき	速く点滅
入力1に接続している機器で異常が発生	約3秒おきに1回点滅
入力2に接続している機器で異常が発生	約3秒おきに2回点滅
入力3に接続している機器で異常が発生	約3秒おきに3回点滅
入力4に接続している機器で異常が発生	約3秒おきに4回点滅
入力5に接続している機器で異常が発生	約3秒おきに5回点滅



本体

マイク ●通話するときに使用します。

システム異常灯
- ●内蔵ニッケル水素電池の異常(内部短絡、断線、未接続)時、赤色点滅(遅)します。(12ページ参照)

注 **●メッセージ録音時、赤色点灯します。**
●設定時設定項目を確定すると、赤色点滅(速)します。(設定マニュアル参照)

通報テストボタン
- ●通報テストをするときに押します。

取消ボタン
- ●間違って通報した場合に通報を取り消すときに押します。

注 **警報メッセージ設定スイッチを「防犯モード」側に設定している場合は、通報ボタンおよび通報テストボタンを押したとき以外は取り消しできません。**
(警報メッセージ設定スイッチは設定マニュアル参照)

電源灯
- ●緑色点灯で電源が入っていることを示します。

スピーカー
- ●通報メッセージ・通話音が聞こえます。

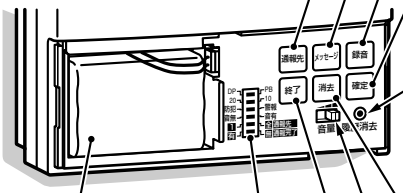
設定部カバー

通報先ラベル
- ●付属の通報先ラベルに通報先を記入し貼ります。

通報先灯1～4
- ●通報中に赤色点滅(遅)し、通報先が応答すると赤色点灯します。
  また、通報先が応答しなかった場合には赤色点滅(速)し続けます。

設定部カバー内

注 **設定部カバー内の各ボタンについては付属の設定マニュアルを参照してください。**



通報先ボタン
- ●通報先の電話番号を登録・確認するときに押します。

メッセージボタン
- ●メッセージを登録・確認するときに押します。

録音ボタン
- ●メッセージを録音するときに押します。

確定ボタン
- ●通報先の電話番号・メッセージを登録するときに押します。

履歴消去ボタン
- ●異常発生および通報履歴を消去するときに押します。また、通報灯、通報先灯を消灯させるときに押します。

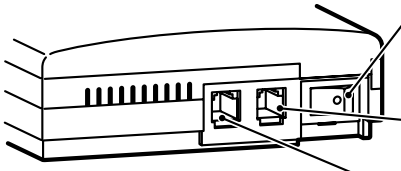
消去ボタン
- ●録音内容・通報先の電話番号を消去するときに押します。

音量切替スイッチ
- ●通報メッセージ・通話音の音量を切り替えます。(出荷時：「大」側)

終了ボタン
- ●設定モードを終了するときに押します。

設定スイッチ
- ●電話回線種別など機能設定をするときに使います。

ニッケル水素電池
(品番：WQNT1022520)



電源スイッチ
- ●電源の入・切ができます。
  (出荷時：「入」側)

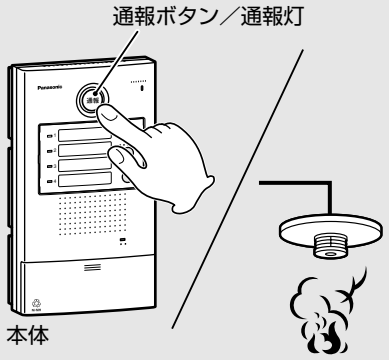
電話機接続用モジュラジャック
- ●電話機を接続するときに使用します。

電話回線接続用モジュラジャック
- ●電話回線を接続するときに使用します。

通報を行うには

自動通報するためには、あらかじめ、自分の住所・氏名を録音し、通報先の電話番号を登録する必要があります。
付属の設定マニュアルにしたがって設定してください。
設定した内容は設定マニュアルの「書き込み設定シート」に記入してください。

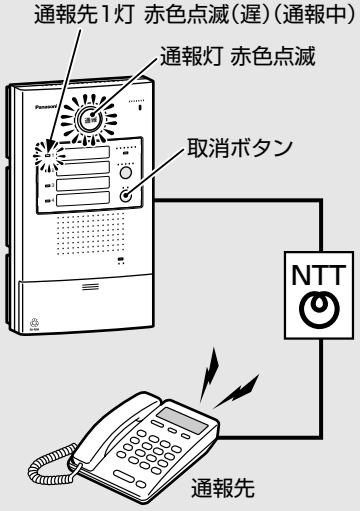
1 通報ボタンを押す、または警報を検知すると



●通報灯が赤色点滅します。

自動通報の開始を遅らせることができます。
（設定マニュアル参照）

2 通報先へ自動通報する



●呼出中は通報先灯が赤色点滅（遅）します。
●通報先1ヵ所につき約35秒間呼び出します。

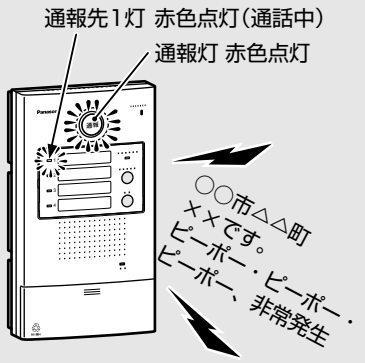
通報を取り消すには

取消ボタンを押してください。

●通報先が応答する前であれば取り消すことができます。
必ず警報を検知した機器を復旧させてください。

注 警報メッセージ設定スイッチを「防犯モード」に設定している場合は、取り消しできません。
（ただし、通報ボタンと通報テストボタンを押した場合は取り消すことができます。）

3 通報先が応答すると、通報メッセージが流れる



●応答中は通報灯と通報先灯が赤色点灯します。
●通報先が応答しなかった場合は、約10秒後に次の通報先へ自動通報します。

＜通報メッセージ＞

録音した住所・氏名 ＋ 各警報メッセージ
（警報メッセージの内容は11ページ参照）

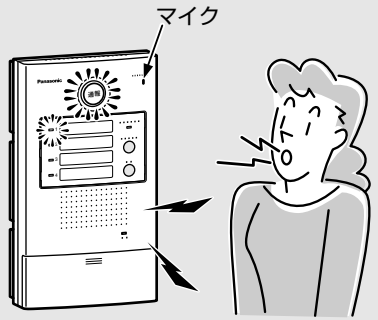
本体から通報メッセージを鳴らさないようにすることもできます。（設定マニュアル参照）

通報を受けたときのご注意

●電話を取ると 録音した住所・氏名 ＋ 各警報メッセージ（2回繰り返し） の後、
ピー音 が鳴り、通話状態となります。
ピー音 まで聞いて通話状態になってから通話するか、電話を切ってください。
（通話状態にならないと通報完了となりません。）

録音した住所・氏名 ＋ 各警報メッセージ（2回繰り返し） の間に電話を切った場合は、通報が完了していないため、最大3回電話がかかってきます。

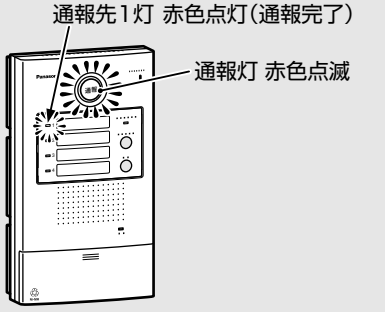
4 通報先と通話する



●通話時間は約3分間です。
（10ページ「通話時のご注意」を参照）

通話時間は変更できます。
（設定マニュアル参照）

5 相手が電話を切ると、通話終了



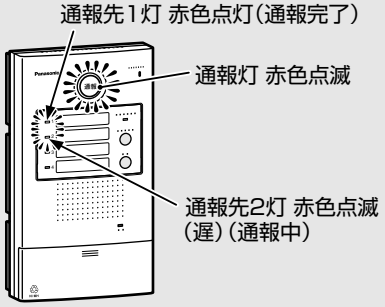
●通報を完了すると通報先灯は赤色点灯し続けます。
●通報灯は赤色点滅します。

(注) 通報先が留守番電話機の場合、留守応答でも通報完了となります。

通報中に通報先(電話機)から本体側の操作ができます。(13ページ参照)

(確実に通報完了させるため、通報先から通話完了信号の操作をさせることもできます。)

6 約3分後、通報先2、通報先3、通報先4へ順次通報する



●通報先1～4の全てに自動通報します。(全宛先通報)
●通報先灯が4ヵ所とも赤色点灯している場合は、4ヵ所全ての通報が完了しています。
●通報完了時、通報ボタンの点滅状態でどこで異常が発生したのかを知らせます。
(5ページの通報ボタンの説明参照)

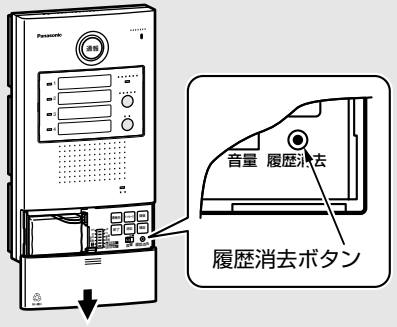
通報先が1ヵ所でも応答した時点で自動通報を終了することもできます。(設定マニュアル参照)

通報先が応答しない場合は

応答しなかった通報先のみ3回まで自動的に通報を繰り返します。

(注) 通報しても応答しなかった通報先の通報先灯は速く赤色点滅します。

7 通報完了後、履歴消去ボタンを押す



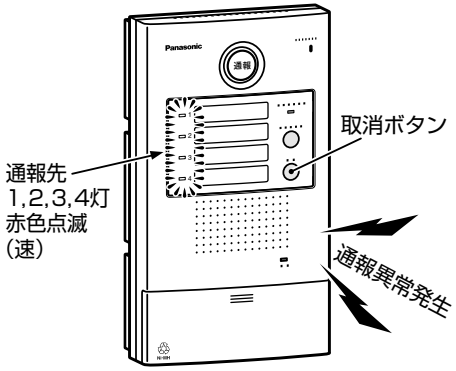
●通報先灯・通報灯が消灯します。
●警報を検知して通報した場合は、各商品に付属の説明書を参照して警報した機器を復旧させてください。

通話時のご注意

●本体から50cm以内の距離で通話してください。本体から離れすぎると音声が聞き取りにくくなることがあります。
●本体のまわりの音が大きくて騒がしいとき(赤ちゃんの泣き声、犬の鳴き声、ステレオの音量など)は、音がとぎれて聞き取りにくくなることがあります。
●接続機器から警報メッセージが鳴っている場合は音声が聞き取りにくくなることがあります。接続機器側の警報メッセージを止めてください。
●通報先と通話するときは相手の話が終らないうちに話すと、声がとぎれて聞こえることがあります。話がいったん終ったところで話すとスムーズな会話ができます。
●聞こえにくい場合は音量切替スイッチを「大」側にしてください。
(6ページ参照)

■各通報先に3回通報を繰り返しても、全ての通報先が応答しなかった場合には本体から通報異常メッセージが流れます。

全通報先が未応答の場合



●通報異常メッセージ
「通報異常発生」が流れます。
●通報先1, 2, 3, 4灯が赤色点滅(速)します。
●通報異常メッセージを止める場合は取消ボタンを押してください。
(通報灯も消灯します。)
(通報先灯は履歴消去ボタンを押すと消灯します。)

(注) 通報先が速く赤色点滅している通報先への自動通報は行われていません。通報が必要な場合は、あらためて電話機にて連絡してください。

警報メッセージ内容

警報メッセージは変更することができます。(設定マニュアル参照)

❶	**感知器が作動したとき（火災通報）**	ファン・フォン・ファン・フォン・ファン・フォン、火事です。火事です。火災が発生しました。
❷	**ガスもれ警報器が作動したとき（ガスもれ通報）**	ピッ・ピッ・ピッ・ピッ・ピッ、ガスもれです。
❸	**不完全燃焼が発生したとき（不完全燃焼通報）**	ピッポッ・ピッポッ、空気が汚れて危険です。
❹	**通報ボタンや非常用押釦が押された場合（非常通報）**	ピーポー・ピーポー・ピーポー、非常発生。
❺	**マグネットスイッチなどが作動したとき(防犯異常通報)**	ピーポー・ピーポー・ピーポー、防犯異常発生。
❻	**建物への侵入を検知したとき（建物侵入通報）**	ピーポー・ピーポー・ピーポー、建物への侵入を検知しました。
❼	**敷地への侵入を検知したとき（敷地侵入通報）**	ピーポー・ピーポー・ピーポー、敷地への侵入を検知しました。
❽	**緊急用のコール押釦が押されたとき（緊急コール通報）**	ピーポー・ピーポー・ピーポー、早く来てください。
❾	**録音メッセージ**	通報時に流れる警報メッセージを録音できます。録音方法は設定マニュアルを確認してください。
❿	**システム異常が発生したとき（システム異常通報 :12ページ参照）**	ポン、システム異常が発生しました。
⓫	**システム異常が復旧したとき**	ポン、システム異常が復旧しました。

注 各通報動作には優先順位がついています。通報中にほかの警報が発生した場合には、上記の順番にしたがって通報されます。

システム異常通報とは…

下記の場合にはシステム異常通報します。
異常内容を確認して処置してください。

注 内蔵ニッケル水素電池の異常時には、システム異常灯が赤色点滅します。（停電および電源線の断線時は点滅しません。）

システム異常通報・システム復旧通報しないようにすることもできます。(設定マニュアル参照)

■3分以上停電が続いた場合

●3分以上の停電が続いた場合にシステム異常通報し、停電が復旧したときにシステム復旧通報します。
（停電時、約1時間の通報動作が可能です。）

注 内蔵ニッケル水素電池が接続されていない場合は、通報できません。

■内蔵ニッケル水素電池の異常

●システム異常灯が赤色点滅します。
●内蔵ニッケル水素電池のリード線がはずれていませんか？内蔵ニッケル水素電池を確認して頂き、異常がなければ施工店へ連絡してください。

注 12時間ごとにチェックを行いますので、電池異常発生後、最大12時間通報が遅れる可能性があります。

■電源線が断線している場合

●施工店へ連絡してください。

通報先の電話機での操作

●通報時に通報先の電話機から自動通報機の動作を制御できます。

通話完了信号	動　作	①㊋を押さないと通報完了になりません。 出荷時設定では、電話を切れば通報完了となります。確実に通報完了を確認するために通報先からの信号を必要とさせる場合に設定してください。(設定マニュアル「設定スイッチを設定する」参照)
	操　作	通話中に ➡ ①＋㊋を押す
室内モニター	動　作	自動通報機側(室内)の音声を強制的に聞くことができます。 電話機側(通報先)の騒音が大きい場合にお使いください。 電話機からの音声や騒音は自動通報機側には聞こえなくなります。
	操　作	通話中に ➡ ②＋㊋を押す (④＋㊋を押すと、もとの通話状態に戻ります。)
室内呼びかけ	動　作	電話機側(通報先)の音声が強制的に自動通報機側に伝わります。 自動通報機側の騒音が大きい場合にお使いください。 自動通報機からの音声や騒音は電話機側(通報先)には聞こえなくなります。
	操　作	通話中に ➡ ③＋㊋を押す (④＋㊋を押すと、もとの通話状態に戻ります。)
メッセージ繰り返し要求	動　作	通報メッセージを再度再生します。
	操　作	通話中に ➡ ⑦＋㊋を押す

操作時、下記の点にご注意ください。

通報先の電話がダイヤル回線契約の場合

●ダイヤル(DP)発信を一時的にプッシュ(PB)発信に切り替える必要があります。
番号操作の前に ㊍ を押してください。

例) 通話完了信号の操作(室内モニター、室内呼びかけ、メッセージ繰り返し要求の操作も同じです。)
プッシュ回線での操作：通話中に ➡ ①＋㊋を押す。
ダイヤル回線での操作：通話中に ➡ ㊍＋①＋㊋を押す。

通話完了信号の操作時のご注意

●通報時に電話を取ると、録音した住所・氏名 ＋ 各警報メッセージ(2回繰り返し) の後、
3秒以内に「①㊋」を押してください ＋ ピー音 ＋(3秒無音)＋ ピー音 がして通話状態となります。

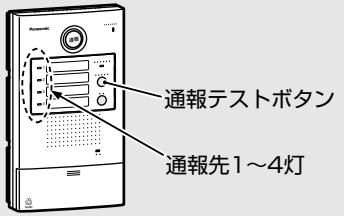
●「①＋㊋」を押すと、通報完了しました のメッセージが流れます。

注 3秒無音の間に「①+㊋」を押してください。3秒以降でも受け付けできますが、まわりの音が大きく騒がしいときには、通話状態になってから「①+㊋」を押すと、「①+㊋」の信号を受け付けにくい場合があります。

通報テストを行うには

●自動通報が確実に行われるために、1ヵ月に一度は通報テストを行ってください。

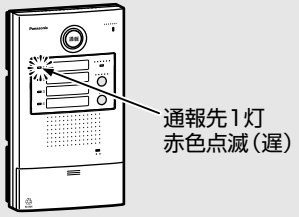
1 通報テストボタンを押して、通報先を選ぶ



●通報テストボタンを押すたびに、通報先1灯➡通報先2灯➡通報先3灯➡通報先4灯の順に赤色点灯します。

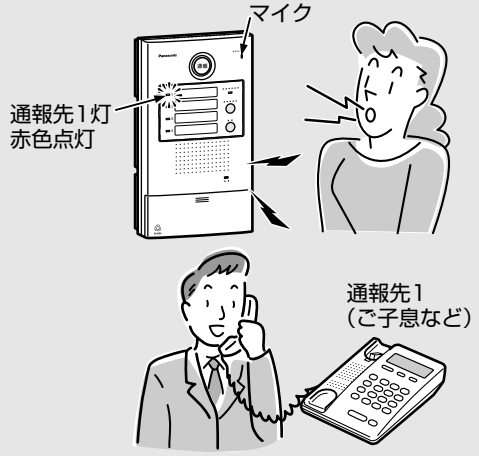
注 **約2秒間通報テストボタンを押さなければ、通報先を確定し通報テストを開始します。**

2 通報テスト先(通報先1)へ自動通報する



●通報先1灯が赤色点滅(遅)します。(呼出中)
●通報先が応答する前であれば、取消ボタンで通報を取り消すことができます。

3 応答すると通話できる



●通報先1灯が赤色点灯します。

注

通報メッセージは鳴りません。
住所・氏名の後、通話状態になります。
通報テストであることをお伝えください。

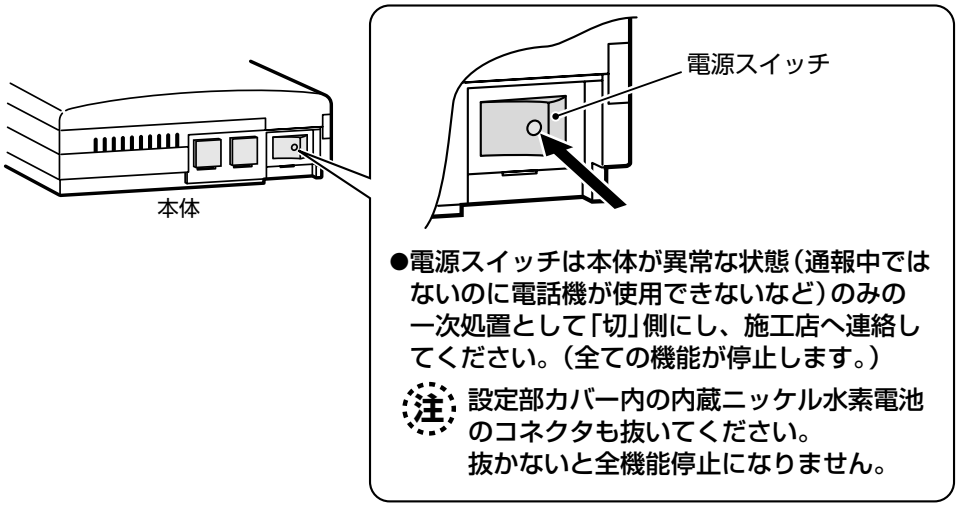
故障かな？と思われたら

●万一、異常がありましたら、下記一覧表にしたがって適切な点検および処置をしてください。

状　態	点検項目	処　置	参照ページ
電源灯が緑色点灯しない	電源スイッチが「切」側になっていませんか？	「入」側にしてください。	6
	ブレーカーが切れていませんか？	ブレーカーを入れてください。	—
通報先1～4灯が全て赤色点滅する	通報先を登録しましたか？	通報先を登録してください。	設定マニュアル
通報先灯が赤色点灯したままになる	通報が完了した状態ではありませんか？	接続機器の異常を確認し、履歴消去ボタンを押してください。	9
通報時「ピッピッピッ」とエラー音が鳴る 通報時ダイヤルしない 呼出音「プルプル」音が聞こえない	電話回線は接続されていますか？	電話回線を接続してください。	施工説明書
	電話回線種別設定は合っていますか？	ご契約の電話回線種別に合わせてください。	設定マニュアル
通報ができない	電源灯が緑色点灯していますか？	「電源灯が緑色点灯しない」の項目を確認してください。	—
	ダイヤル音や呼出音「プルプル」音が聞こえますか？	「通報時ダイヤルしない」「呼出音「プルプル」音が聞こえない」の項目を確認してください。	—
	通報先を登録しましたか？	通報先を登録してください。	設定マニュアル
通話時、相手の声が聞こえない	音量切替スイッチが「小」側になっていませんか？	音量切替スイッチを「大」側にしてください。	6
接続している電話機が使用できない	通報動作中ではありませんか？	通報動作終了後、または取消ボタンを押して通報中止後、使用してください。	10
通報時の各機能が電話機で設定できない	受話器をあげて確定ボタンを押していませんか？	受話器をおいて確定ボタンを押してください。	設定マニュアル

状　態	点検項目	処　置	参照ページ
システム異常通報する	内蔵ニッケル水素電池のリード線がはずれていませんか？	リード線をコネクタに差し込んでください。	設定マニュアル
	停電が発生しませんでしたか？	――	—
停電してもシステム異常通報しない	停電して3分以上経過していますか？	停電時間が3分以内の場合はシステム異常通報しません。	12
通報テストができない	通報先の電話番号が登録されていますか？	電話番号を登録してください。	設定マニュアル

注 一覧表にしたがって処置をしても本体が異常な状態の場合は、電源スイッチを「切」側にし、施工店へ連絡してください。



●電源スイッチは本体が異常な状態（通報中ではないのに電話機が使用できないなど）のみの一次処置として「切」側にし、施工店へ連絡してください。（全ての機能が停止します。）

注 設定部カバー内の内蔵ニッケル水素電池のコネクタも抜いてください。抜かないと全機能停止になりません。

仕　様

屋内用

電　　源	AC 100V　50/60Hz
消 費 電 力	最大時 約5W　待機時 約2.5W
停電時動作用 予 備 電 源 （内蔵ニッケル水素電池）	内蔵ニッケル水素電池の品番：WQNT1022520
停電時動作時間	約1時間の通報動作が可能（ただし、電池満充電であること）
メッセージ録音時間	住所・氏名：最大約12秒間　警報メッセージ：最大約8秒間
適 用 回 線	一般加入者回線（PB/DP回線両用）
通 話 方 式	音声自動切替方式
使用周囲温度	0℃～+40℃
寸　　法	高さ：約210mm　幅：約120mm　奥行：約41mm
質　　量	約600g

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使いかた・お手入れなどは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電　　話（　　）　　ー

お買い上げ日　　年　月　日

修理を依頼されるときは…
15～16ページの「故障かな？と思われたら」でご確認のあと、直らないときは、まず電源スイッチを「切」側にし、ニッケル水素電池のコネクタを抜いてから、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名　自動通報機

●品　番

●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定にしたがって出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用
【部品代】部品および補助材料代
【出張料】技術者を派遣する費用

●補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、この自動通報機の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、お客様ご相談窓口（別紙一覧表参照）にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などは、ホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/